

第1研究課題 第1B分科会

「教育課程に関する課題」

研究主題 「ふるさとに夢や誇りを持ち、学び合う子の育成と教頭の関わり」

一学校・家庭・地域が連携した教育活動の工夫を通して一

上島町立弓削小学校 松本正春

1 研究の概要

上島町は瀬戸内海の芸予諸島のほぼ中央に位置する島嶼部の町であり、町内にある7小中学校は全てへき地指定である。既に開通している2つの橋（弓削大橋、生名橋）に加え、令和4年の岩城橋開通によって町内の4つの島が橋でつながることとなり、これまで以上に地域が一体となり、地域の教育力を生かした子どもたちの育成が期待されている。

本校の児童は、豊かな自然と温かい地域の関わりの中で、素直で何事にも一生懸命取り組むことができる。一方、自分の思いや考えを伝えることを苦手としている児童が多く、指示を待ったり他人に任せたりするという消極的な面が見られる。そこで、豊かで美しい自分たちの「ふるさと」を学習の場・対象・教材として取り入れ、学習活動において創意工夫を凝らすことで、これらの課題を解決するよう取り組んできた。また、令和元年度からの3年間愛媛県へき地・地域教育の研究指定を受け、学校と家庭・地域が連携・協力しながら学習指導や行事等の活動に取り組み、児童一人一人の学力や表現力の向上を目指している。

2 研究の内容

実践内容	教頭としての関わり
(1) 上島町の取組	
ア 上島町教頭会研修会の取組	○ 情報交換及び課題の共有
イ コミュニティ・スクールの取組	○ 教頭会における情報交換
ウ 地域ふれあい学習会での連携	○ 関係諸機関との連絡・調整
(2) 本校の取組	
ア 郷土愛を育む学習活動	
（ア） 地域素材を生かした学習活動	○ 地域人材・外部講師との連絡・調整
（イ） ICTを活用した学習活動	○ 校内研修の時間の確保と指導助言
（ウ） 異学年集団の活動の工夫	○ 実施日の調整と保護者・地域への情報発信
イ 家庭・地域との連携	○ 学校だよりや学校HPでの啓発
（ア） 家庭と連携した望ましい学習・生活習慣の定着	
（イ） 地域との協働活動	○ 諸団体との連絡・調整
（ウ） 弓削中学校との連携	○ 中学校との連絡・調整
（エ） 地域の高等学校・高等専門学校との連携	○ 各校との実施日等の調整
(3) 成果と課題	

3 教頭としての今後の課題

- (1) コロナ禍における行動面に制限がある中で、教頭として学校と家庭・地域との連携をどのように進めていけばよいか。
- (2) 一人一台のタブレット端末等のICT機器を、家庭・地域との連携に効果的に活用していくために、どのような取組を進めていけばよいか。